

群馬県青少年赤十字の 現状と課題について



日本赤十字社群馬県支部
組織振興課長 糸井 政幸

1

本日させていただくお話

1 青少年赤十字の「現状」について

2 青少年赤十字の「課題」について

2

2

本日させていただくお話

1 青少年赤十字の「現状」について

- (1) 青少年赤十字の目的
- (2) 青少年赤十字の活動
- (3) 学校教育との関係

2 青少年赤十字の「課題」について

3

3

1(1) 青少年赤十字の目的

4

4

赤十字と青少年赤十字

・赤十字の考え

- ・人の痛みや苦しみに目を向ける
- ・利己心と闘う 無関心に陥らない
- ・常に想像力を持って行動する
- ・人の「いのち」「健康」「尊厳」を守る

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

われらにも、世界の多幸が共有する7つの基本原則に示されて行きます。

人：人々のいのちと健康、幸福を得るため、世界中の人々に健康に繋がる。
食：年々かかる費用も増える。誰もが安全な食料を入手できるように。
中：すべての人の健康維持で活動するため、いかにこの事に貢献出来るか。
製：国や他の組織間の人道援助に協力するため、必ずしもすべての衛生環境を優先し
性：利益を求める。人を助けるため、医療的に行動します。
第1：国内での唯一の公平な手段として、すべての人に平等な生活を送るための。
習慣性：世界には様々な年齢層の子どもたちが生息し、互いの力を結ぶことで行われます。

わたしたちの決意

わたしたちは、歩み寄る道徳の道い手として、
人運の実現のために、
利己心と闘い、無関心と闘うことなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

・青少年赤十字の目的

赤十字のやさしさや、思いやりのこころ(人道的価値)
を持った子どもを育成する

Ⅰ 「青少年赤十字」の目標

実践目標

健康安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標

気づき、考え、実行する

人道（やさしさ、思いやり）の輪の拡大

誰の心の中にも本来ある
「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し
主体的に行動できるこどもを育てる

■「青少年赤十字」の実践目標

健康・安全

- ・いのちと健康を大切にする力を養う
(いのちとけんこう)

奉仕

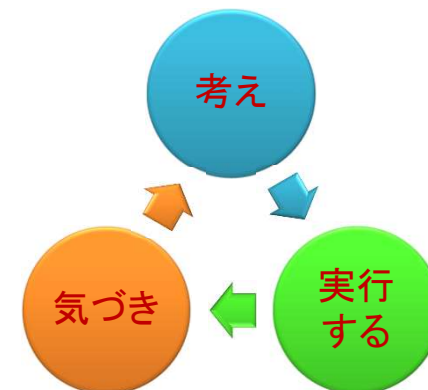
- ・人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、手助けができる力を養う(しんせつ)

國際理解

・親善

- ・ 世界が抱える問題に関心をもち、世界のことを正しく知り、仲よく助け合う精神を養う(なかよく)

■「青少年赤十字」の態度目標



児童・生徒が自主的で自律した生活態度を養うための目標


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1 (2) 青少年赤十字の活動

9


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1 (2) 青少年赤十字の活動

- ・学校活動
- ・地区活動
- ・県活動

10


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

群馬県青少年赤十字の概況（令和6年度）

群馬県の加盟率 95.6%

加盟校 546校 加盟メンバー数 13万3,546人

※小中高の公立校は100%加盟
 ※公立中学校は平成27年度(2015年度)に全校加盟
 ※公立小学校・公立高等学校は平成28年度(2016年度)に全校加盟
 ※令和6年度は樹徳高等学校様、東京農業大学第二高等学校中等部様に加盟
 いただいております。

(参考)全国の概況（令和5年度）

(1) 全国の加盟校数 1万4,416校

(2) 全国のメンバー数 343万683人

(3) 全国の加盟率 26.5%

11


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

全国データで見る青少年赤十字

校種別加盟率	小学校	中学校	高等学校
1位	岐阜県(100%) (351校 / 351校)	岐阜県(100%) (181校 / 181校)	香川県(100%) (40校 / 40校)
2位	群馬県(99.3%) (301校 / 303校)	富山県(97.4%) (74校 / 76校)	徳島県(97.2%) (35校 / 36校)
3位	福島県(98.2%) (383校 / 390校)	群馬県(96.3%) (154校 / 160校)	群馬県(94.8%) (73校 / 77校)
4位	福井県(96.3%) (184校 / 191校)	福島県(96.2%) (204校 / 212校)	大分県(81.5%) (44校 / 54校)
5位	香川県(94.4%) (151校 / 160校)	徳島県(93.3%) (83校 / 89校)	和歌山県(80.9%) (38校 / 47校)
全国平均	37.4%	34.8%	36.2%

出典: 令和5年度 日赤本社データ

12

小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援			
	学校数	加盟校数	加盟率
群馬県	573	546	95.3
香川県	285	270	94.7
岐阜県	642	606	94.2
徳島県	322	295	91.6
福島県	732	631	86.3

出典:令和5年度 日赤本社データ

13

学校での活動例



ハザードマップ作製

医療従事者へメッセージ

オンライン防災講習

登録式

防災講習

清掃活動

14

学校での活動例



花いっぱい運動

地区トレーニング・センター

あいさつ運動

美化運動

15

実践推進校(令和6～7年度)

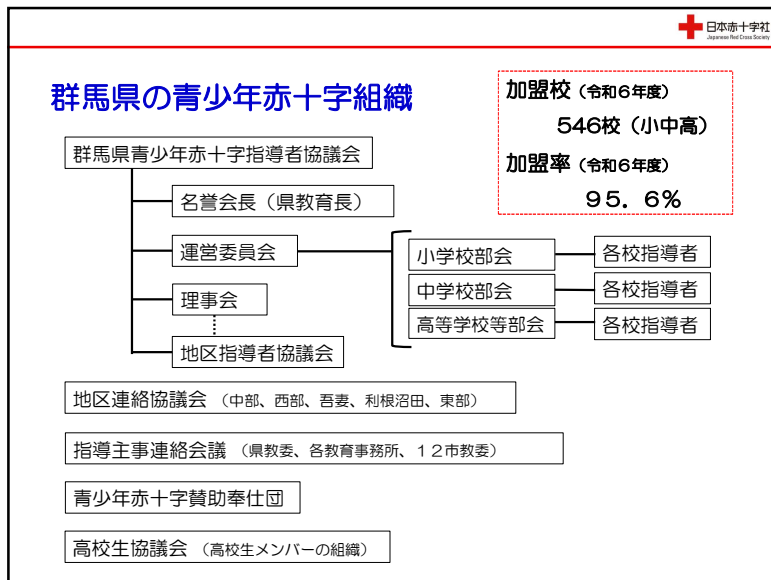
太田市立荊川小学校

心豊かに、たくましく生きる荊っ子の育成
～気づき、考え、実行する青少年赤十字活動の
実践を通して～

長野原町立長野原中学校

思いやりの心を持ち、自ら気づき・考え・実行
する生徒の育成
～青少年赤十字の実践を通して～

16



17

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

地区トレーニングセンターの活動例



小中高の児童・生徒と一緒に取り組む機会や、
地域の人たちをお互いに知るきっかけにもなります

18

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

県リーダーシップ・トレーニング・センター



リーダーシップ・トレーニング・センターの日程（例）

日	時間	1日目	2日目	3日目
1日目	10:00-11:00	受付・開会式	開会式	開会式
	11:00-12:00	アイスブレイク	アイスブレイク	アイスブレイク
	12:00-13:00	昼食	昼食	昼食
	13:00-14:00	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
2日目	10:00-11:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク
	11:00-12:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク
	12:00-13:00	昼食	昼食	昼食
	13:00-14:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク
3日目	10:00-11:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク
	11:00-12:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク
	12:00-13:00	昼食	昼食	昼食
	13:00-14:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク

開催日程

小学校 8月21日（木）～23日（土）

中学校 8月 5日（火）～ 7日（木）

高校 7月28日（月）（日赤群馬県支部で1日研修）
7月30日（水）～8月1日（金）

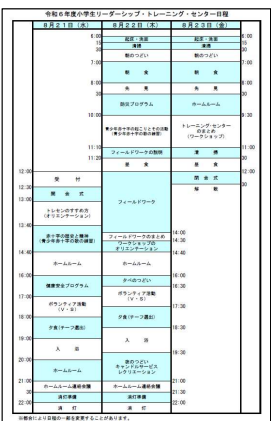
※各校種とも宿泊は2泊3日（赤城少年自然の家）

19

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

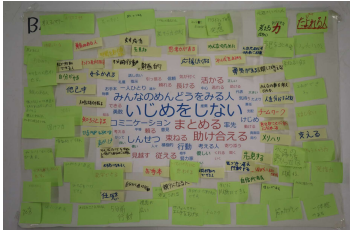
リーダーシップ・トレーニング・センター（赤城少年自然の家 2泊3日）

指示のない生活を通して、仲間意識や自主・自立の心を育てます。



※小中高等学校ごとに実施

- ・防災教育プログラム
- ・実技学習（AED、炊き出し実習 他）
- ・ボランティアの実践
- ・フィールドワーク など



20

青少年赤十字の指導上の考え方

- 先見（先を見通して行動できる態度）
- ボランティア・サービス（奉仕活動）による問題解決
- 指示のない生活（掲示板の活用）
- 積極的な待ちの姿勢
- 「人道の4つの敵」の克服
（利己心、無関心、認識不足、想像力の欠如）



主体的に行動する子どもの育成

21

1(2) 青少年赤十字の活動 教材:「まもるいのち、ひろめるぼうさい」

22

防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」

防災教育の達成目標

まもるいのち

自分のいのちを守る力を身につけること。

ひろめるぼうさい

学校、地域、家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りのいのちを救うこと。いのちの大切さ、思いやる心を育てること。



23

防災教育プログラム(教材)



テキスト
(指導案)



DVD
(映像)



CD-R
(教材)

* テキスト、DVD、CD-Rには、小学生用(1～3年)、小学生用(4～6年)、中学生用・高校生用の3バージョンを収録

* DVD(映像)は、日本語字幕、副音声対応(チャプターで選択し災害別に学べる)

24

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害シミュレーション

● グループワーク資料 1-4
青少年赤十字社は教育プログラム（災害時のシミュレーション）を開発しています。



災害が起きて、すぐに避難が必要。あなたは何をスーツケースに入れますか？

ポイント：正解はありません。選んだ理由、選ばなかった理由を発表してもらおう。個人ワーク、グループワークどちらでも可能。



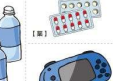
【持ち物】



【持ち物】



【持ち物】



【持ち物】



【持ち物】



【持ち物】



【持ち物】

25

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society






子どもがやっても、大人（先生）がやっても、仲間作り、チームワーク作りは、笑顔になります

26

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1(3) 学校教育との関係

27

27

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

学校や幼稚園・保育所に組織されています

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、学校・幼稚園の先生や保育所の保育士が指導者となります。

学校や園は、それぞれの教育・保育方針に基づいて自主的に青少年赤十字を採用し、実態に即して計画、実践することになっています。

↑ 学校教育の中に、青少年赤十字の立ち位置があります

何を実践するかは学校や園の自由裁量です

日本赤十字社では、青少年赤十字の活動のための資料提供、赤十字の全国的・国際的組織を活用した便宜供与や学校間連携の支援、希望する加齢校の教員、生徒向けの研修などを実施していますが、指示や通達によって学校内の組織を拘束することはありません。

日本赤十字社が提供する資料をどのように活用するかは、あくまでも学校や園が自主的に判断します。

↑ 青少年赤十字の「考え方」や「教材」を学校の中で自由に使ってください

青少年赤十字は世界的な組織です

世界191の国と地域に同じ理想を掲げ、実践している姉妹赤十字社の組織がありますので、国内の学校やメンバー間はもちろん、姉妹社の青少年赤十字メンバー同士の人、情報、物（国際親善アルバムなど）の交流も盛んに行われています。なお、青少年赤十字は「JRC」と呼ばれることもあります。JRCは Junior Red Cross の略です。外国では「Red Cross Youth(RCY)」と呼ばれることもあります。

日本赤十字社（本社）ホームページから

28

31

32

31

32

2 青少年赤十字の課題

33

33

青少年赤十字の課題について

1 指導者の育成

⇒ 現状、トレーニングセンターや指導者講習会運営に向けた青少年赤十字の指導者が不足しています。今後、青少年赤十字の考えを学校教育の中で広めていただくことの意義を継続して発信することにより、各教育委員会や校長先生方の更なる理解促進を図り、参加しやすい環境作りに努めます。

2 活動の活性化

⇒ 新型コロナウイルスの影響によって規模を縮小、または中止していた活動を関係者の理解を踏まえたうえで再開していくとともに、各地区または学校単位での活動について、活性化に繋がるよう、積極的に情報提供を推進します。

34

まとめ

35

35

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —



豊かな心をもった青少年の育成強化

- これからの教育現場のニーズに即した「青少年赤十字」活動の再編
- 「不登校」や「いじめ」等の学校が抱える問題解決の一助となる人道教育の展開
- 地域社会とのつながりを体感できる新たな「青少年赤十字」活動の導入

36

青少年赤十字活動は、決して特別なものではありません。

そして、新しいことを求めるものではございません。

すでに学校で実施していることと、青少年赤十字の考え方が「合致している！」と見出していただくことも、『ご活用』いただくひとつかと考えます。

「教材」「行事」、そして「考え方」を
学校教育の中で、
是非、ご自由にご活用ください。

